

# WITHコロナ・POSTコロナに向けて

令和2年6月16日(火)

## 6月定例会 代表質問

京都府議会6月定例議会において、代表質問をさせていただきました。

49分の長丁場でしたが、内容はWITHコロナ・POSTコロナに向けた京都府の取組についてが中心となりましたが、この間、知事の権限が大きく取沙汰される中であって、西脇知事のリーダーシップを期待し、府民の皆様に向けた、メッセージを求めました。

### 西脇知事メッセージ(概略)

第2波に備えながら社会経済活動を段階的に戻していく、誰もが経験したことのない「WITHコロナ社会」を生きていく必要がありますが、京都は、これまでに幾多の苦難を乗り越えてまいり、どんなに困難な時も力を合わせて乗り越えてきた風土がございます。

京都府では、5回に及ぶ補正予算を編成し、経営に大きな影響を受けておられる中小・小規模事業所の方々をはじめ、雇用環境の悪化により思うように働くことができている方々、ひとり親世帯や障がいのある方々、さらには妊婦の方々への支援や、大学生、児童・生徒の皆さんへのサポートなど、府民の皆様へ寄り添い、皆様の命と生活を守るために最大限の努力をしております。

これからも、将来に希望の持てる京都府を築くため、全力を尽くしてまいります。このウイルスに決して屈することなく、全ての府民が一丸となって、この難局を乗り越えていきましょう。

### 代表質問 主な項目

- Q 6月補正予算案について
- Q WITHコロナに向けたこれからの京都の在り方について



詳しくは府議会のホームページへ

<https://www.pref.kyoto.jp/gikai/>



令和2年7月15日(水)

## COVID-19 勉強会 in 宇治徳洲会病院

宇治徳洲会病院におけるCOVID-19(新型コロナウイルス)の勉強会の実施。宇治徳洲会では、中等症のコロナウイルス患者の対応をいただき、そのチームを牽引された篠塚淳(日本小児科感染症学会・ICD) 副部長より、現状報告及び、第2、第3波に備えての講演をいただきました。



42歳子育て中の医師であり、医師としての責任感を淡々と話される姿に、安心感と信頼感を持った。というのが、強い印象としてあります。不足する資材の中、とにかく患者を診なければならぬ切迫感を、「医師として当然」との言葉に、強いプライドを感じ、地域医療の拠点として、役割もさらに明確となったものと思えます。



飛沫感染を防ぐ為に、マスクやゴーグルの着用、接触に関しては、飛沫がついたと思われる手で、目・鼻・口を触らない。食事をする前には必ず手を洗う。アルコールで消毒する。必ず第2波は来るので、地域全体で医療体制を構築する。感染症指定医療機関・結核病棟・一般病院の役割を明確にして、病院機能の維持を徹底する。



「医療従事者も大変であるが、もっと大変な思いをしている人がいる。目の前の患者を救う。その事が使命。」

私達の住む町にこういう医療がある。献身的に医療を支えて下さる医師・看護師さん、関係者の皆様の姿に改めて感じ入った勉強会でした。

新しい生活様式



## 久御山町長選挙のお知らせ

任期満了に伴う久御山町長選挙が右記日程で行われます。

告示 2020年8月18日 投票日 8月23日